

NST (栄養サポートチーム) では、職員への栄養に関する情報提供を目的に、奇数月に院内グループウェアを利用して【NST 栄養ひろば】を配信しています。

今回は、『医薬品扱いの経腸栄養剤』についてご紹介します。

### 1. 医薬品と食品の経腸栄養剤の違い

経腸栄養剤には図 1 の通り医薬品扱いのものと食品扱いのものがあり、表 1 のような違いがあります。医薬品扱いの経腸栄養剤は、治験を得て開発されるため、承認までに時間を要しますが、保険適用され、外来・在宅での負担軽減となります。一方、食品扱いの経腸栄養剤は開発費が安いので、病態別製品が作りやすくなっていますが、保険適用されず、外来・在宅では全額自己負担となります。

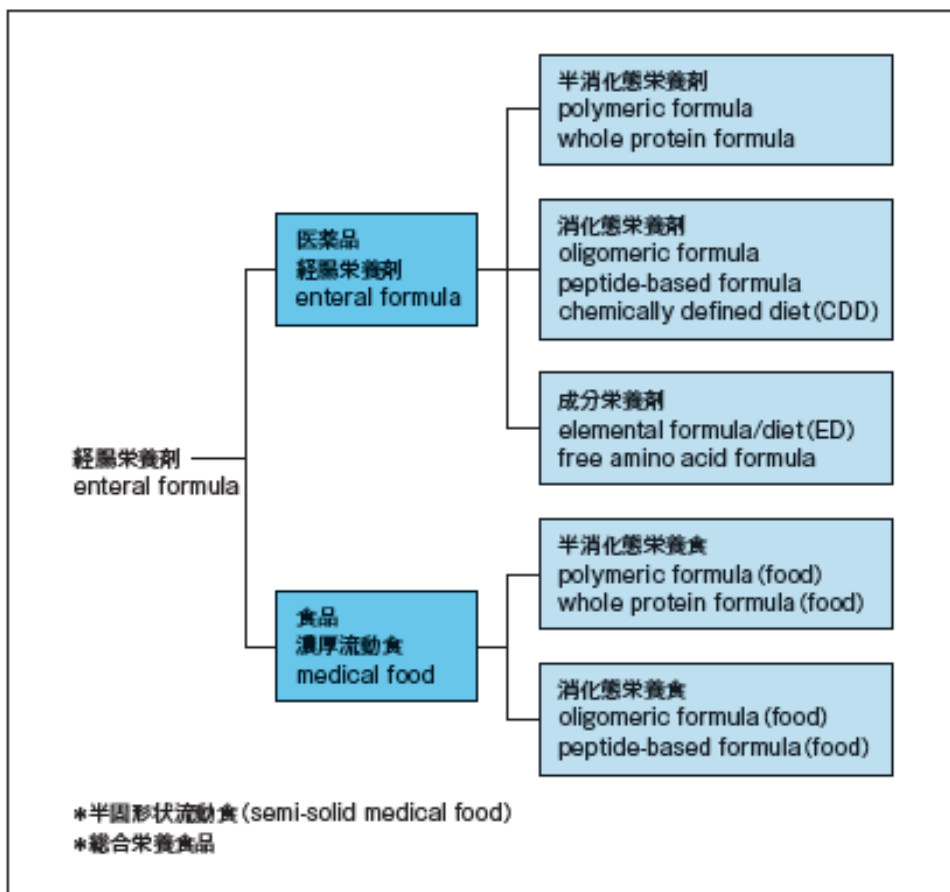


図 1. 経腸栄養剤の分類

表 1. 医薬品と食品の栄養剤の違い

	医薬品	食品
管理部門	薬剤部	栄養管理室
法規	薬機法	食品衛生法
製造の条件	医薬品製造承認の取得	製造業の許可の取得
配合できるもの	日本薬局方収載医薬品 日本薬局方外医薬品 食品添加物収載化合物	天然物 食品添加物収載化合物
保険適用	あり	なし
入院時患者負担	DPC 包括評価に含まれる	給食費
外来・在宅患者負担	薬剤費に対する法定負担率	全額自己負担
個人購入	零売*可能	可能

\*処方箋がなくても病院の薬を購入できるが、保険適用外となる。

## 2. 医薬品経腸栄養剤の分類

医薬品経腸栄養剤は成分栄養剤、消化態栄養剤、半消化態栄養剤に分類することができます。それぞれの特徴について紹介します。

### ・成分栄養剤

化学的に明確な成分から構成されていて、窒素源はアミノ酸です。成分栄養剤は医薬品のみで、食品にはありません。脂肪含有量は全エネルギー比で 1.5～8.1%ときわめて低く、必須脂肪酸欠乏症予防のためには脂肪乳剤の併用が必須となります。また、食物繊維を含まず低残渣であり、消化態栄養剤と同様に、絶食中の患者に対して経腸栄養を導入する場合など急性期で使用されることが多くあります。一方、栄養成分が分解されているため浸透圧が高く、浸透圧性の下痢に注意が必要です。

### ・消化態栄養剤

窒素源はアミノ酸、ジペプチド、トリペプチドで、たんぱく質を含みません。成分栄養剤と同様に、消化・吸収障害やクローン病、周術期などに用いられます。医薬品の消化態栄養剤はツインライン NF のみですが、当院では採用がありません。





### ・半消化態栄養剤





窒素源はたんぱく質であり、脂肪も必要量が含まれています。脳血管障害や神経疾患、上部消化管の通過障害など、消化・吸収機能に異常がない場合は、半消化態栄養剤が第一選択となります。味のバリエーションも複数あり、外来患者で経口摂取量が十分でない場合に好みに合わせて選択しやすい製品が多くあります。一方、1 kcal/mL の製剤であっても短時間に服用すると腹部膨満感や下痢症状をきたすため、ゆっくりと時間をかけて服用するよう指導することが大切です。

### 3. 院内採用の医薬品経腸栄養剤

表 2 が院内採用の医薬品経腸栄養剤です。比較的新しい製剤では微量元素を含有しています。魚油含有製剤は院内の術前休薬ルールで、術前 7 日間休薬する必要があります。

表 2. 院内採用の医薬品経腸栄養剤



製品名	エレンタール	エレンタール P	アミノレバン EN	エンシュア・H
				
分類	成分栄養剤		肝不全用経口栄養剤	半消化態栄養剤
窒素源	アミノ酸		たんぱく質	
たんぱく質(アミノ酸)	16.9%	12.5%	25%	14%
脂質	1.5%	8.1%	16%	31.5%
炭水化物	81.6%	79.4%	59%	54.5%
熱量/容量又は重量	300 kcal/80 g	156 kcal/40 g	213 kcal/50 g	375 kcal/250 mL
浸透圧	760 mOsm/L	溶解液量による	640 mOsm/L	540 mOsm/L
備考		適用は原則 2 才未満	コーヒー味、フルーツ味	バニラ味、メロン味、黒糖味、コーヒー味

製品名	エネーボ	ラコール NF	ラコール NF 半固形	イノラス
				
分類	半消化態栄養剤			
窒素源	たんぱく質			
たんぱく質(アミノ酸)	18%	18%		16%
脂質	29%	20%		29%
炭水化物	53%	62%		55%
熱量/容量又は重量	300 kcal/250 mL	200 kcal/200 mL	300 kcal/300 g	300 kcal/187.5 mL
浸透圧	350 mOsm/L	300-360 mOsm/L	-	670 mOsm/L
備考	Cr、Se、Mo、カルニチン、タウリン、魚油配合。診療科限定採用。	診療科限定採用。 ラコールのビタミンKを1/10に減量した製剤だが、ワーファリンと併用注意と記載。Se 配合。	胃瘻投与。	Cr、Se、Mo、I、カルニチン、コリン、魚油配合。ヨーグルト味、リンゴ味。

#### 4. フレーバーについて

成分栄養剤を服用しやすくするために、表 3 の専用フレーバーを在庫しています。成分栄養剤処方時にフリーコメントで入力すると、製品と一緒に払出されます。また、薬剤部に直接取りに来ていただくことも可能です。エレンタール、エレンタールPに関してはゼリー状に固めるゼリーミックス、とろみをつけるムースベース、アミノレバン EN に関してはゼリー状に固めるゼリーの素も在庫していますので、必要に応じてフレーバーと併用してください。

表 3. 院内在庫フレーバー

製品名	フレーバー	
エレンタール	青りんご味、オレンジ味、グレープフルーツ味、コーヒー味、コンソメ味、さっぱり梅味、パイナップル味、フルーツマト味、マンゴー味、ヨーグルト味	
エレンタールP	フルーツミックス	

参考：静脈経腸栄養ガイドライン第3版

各薬剤の添付文書

臨床栄養 Vol.138 No.1 2021.1 67-72